

シンポジウム

参加費無料

これからの データサイエンスと 大学院教育

横浜市立大学は2018年に首都圏初となるデータサイエンス学部を創設し、2020年にはデータサイエンス研究科を開設しました。また、文部科学省「超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業」に採択され、2019年から「文理融合・実課題解決型データサイエンティスト育成」プログラム（YOKOHAMA D-STEP: YOKOHAMA Data Scientist Educational Program）を展開し、多様な分野で活躍するデータサイエンティスト育成に取り組むとともに、産官学連携を積極的に進めています。

これまで YOKOHAMA D-STEP で開発してきた大学院レベルの実践的なデータサイエンス教育を広めるとともに、我が国において、大学院レベルのデータサイエンス教育の在り方を議論すべく、各界からゲストを招き、講演およびパネルディスカッションを行います。

奮ってご参加ください

2022.02.04 Fri 15:00-17:30

オンライン開催

特設サイトよりお申し込みください

<https://sympo.d-step.yokohama/>



Program

- | | | |
|-------|-------------|---|
| 15:00 | 開会のご挨拶 | 立川 仁典
(D-STEP実施責任者・横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 研究科長/教授) |
| 15:05 | 講演 1 | D-STEPでの実践
坂巻 顕太郎 (横浜市立大学 データサイエンス推進センター 特任准教授) |
| 15:30 | 講演 2 | 武蔵野大学における取り組み
清木 康 (武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 研究科長/教授) |
| 15:55 | 講演 3 | 滋賀大学データサイエンス研究科博士前期課程における人材育成
竹村 彰通 (滋賀大学大学院 データサイエンス研究科 研究科長/教授) |
| 16:20 | パネルディスカッション | ① データサイエンス教育におけるPBL学習
② 大学院修士レベルで必要となるデータサイエンス教育
モデレータ: 田栗 正隆 (横浜市立大学データサイエンス学部教授)
パネリスト: 北川 高嗣 (一般社団法人 サークュラーエコノミー推進機構CEO (Circular Economy Organization) 理事 / 武蔵野大学 データサイエンス学部 教授)
清木 康 (武蔵野大学大学院 データサイエンス研究科 研究科長/教授)
竹村 彰通 (滋賀大学大学院 データサイエンス研究科 研究科長/教授)
汪 金芳 (横浜市立大学大学院 データサイエンス研究科 データサイエンス専攻 専攻長/教授) |
| 17:20 | 閉会のご挨拶 | |

